

Sophia

ソフィアだより

2024年

冬号
No. 4

わたしの1冊

「ひとはこ図書館」より、
櫻井市長のおすすめ本をご紹介

温故知新

県指定文化財

北条 白山神社の「中村の大杉」



特集

世界にひとつだけ！私が館長！

ひとはこ図書館

柏崎市立図書館

ひとはこ図書館

ソフィアセンターでは、秋にイベント「ひとはこ図書館」を開催しました。「ひとはこ図書館」は、柏崎産の木材を使って本箱を作り、それを図書館と見立て、お気に入りの本を入れて展示する催しです。

柏崎木材協会の方々を講師に迎え、14組の参加がありました。市長・教育長と一緒に工具で木材を組み立て、館内で選んだ本を飾りました。1階に展示された小さな図書館はそれぞれ作者の人となりが感じられる個性あふれるものばかりで、多くの方々に利用され親しまれました。



初めて本箱の見本を見て、完成形をイメージします。作成のポイントを説明してもらいました。



木材の大きさを測ったり、木材同士を重ねたりして、釘を打ち込む位置にずれが生じないよう確認しています。

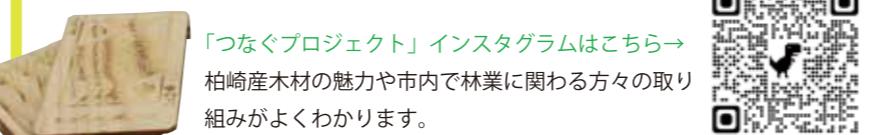


角がズれないように押さえながら、下穴を開け、それに合わせて釘を打っていきます。

最後は本を紹介するPOPを描き、本箱をデコレーションします。選んだ本のイメージに合わせて飾り付けました。



「つなぐプロジェクト」Instagramは[こちら](#)→
柏崎産木材の魅力や市内で林業に関わる方々の取り組みがよくわかります。



柏崎木材協会の思い

柏崎木材協会は、木材を取り扱う市内の材木店などからなる組織です。イベントなどの活動を通して「木材の地産地消」を図るべく、地域の材を地域で循環させることの重要性を伝えています。

最近では外材が流通しており、「木材の地産地消」の意識が薄くなっていますが、地域の材は先人たちが後世の人々を思って植林したもののです。これらを切って使い、また新たな苗木を植えることで次世代に繋いでいくという感覚を大切にしていきたいと思っています。



「ひとはこ図書館」の木材のひみつ

「ひとはこ図書館」で使ったのは、柏崎産の新月伐採材と呼ばれる木材です。新月伐採材とは、満月から新月までの月が欠けていく間に伐採された木材を指し、虫がつきにくく腐りにくいという特長があります。この度は柏崎木材協会から鯨波の柳平で伐採された杉を提供していただきました。



大好きなミステリー小説を中心に本箱を作りました。ミステリーが醸し出す特有の雰囲気を崩さないよう、敢えて装飾を省いています。

さんご
たつき
達喜さん



理科が好きなので、「宇宙」をテーマに本を集めました。奥から大きい本を並べて、見やすくしたところがポイントです。本箱を組み立てるときに、釘を打つ作業が楽しかったです。

ながはら
ゆうき
長原 有希さん



釘を使って本箱を作るのが難しかったです。ねこの絵本を集め、目を引くように飾りを工夫しました。

絵本を読んでおもしろいと思ったところをPOPで紹介しています。

うたしろ
ひなた
歌代 日向さん



それぞれの思いが詰まった世界にひとつだけの図書館





郷土資料から柏崎の良さを再発見しよう！

温故知新



郷土のこと調べる

柏崎の指定文化財には、寺社や芸能、美術品などがありますが、樹木も多数含まれています。中でも杉の木は、市内各所に点在しており、長い年月を経て受け継がれてきました。

北条の白山神社

北条の白山神社境内にある中村の大杉は、今から1000年以上も前に藤原鎌足の末裔が佐渡から持ち帰り植えたものだと言われています。当時小さな苗木だったこの杉は、現在は根元の幹が約11mもの大木に成長し、近郷の名物となりました。昭和4年には、文部大臣から天然記念物に指定され、その折に文部省嘱託の植物学者から枝の下に乳房のような形をした瘤こぶがついているのが珍しいと評価を受けています。

この瘤こぶから滴る露しづくにはいくつか言い伝えがあり、これを乳児に飲ませると丈夫に育ったり、乳の出ない人が信心すると効果があるとされ、乳神様として信仰されてきました。一方で「瘤が唸り、乳水が滴る時は国難がある」という噂もあり、関東大震災や日中戦争の際には、大杉から経を唱えているかのような声がすると言われましたが、実際には風の強い日に木の葉がかかる様が経の音に聞こえてきたようだとのことです。また樹皮は、戦時中に出兵した兵隊のお守りとして効果があると信じられ、そのために長寿杉と呼ばれるようになりましたと言われています。終戦後、国の指定は解除され、1956年に新たに県の指定文化財に認定されました。2022年12月の大雪の際には大枝が折損し、所有者である地元・中村町内会主体の「中村の大杉保存会」により撤去されましたが、大杉の逞しい姿は今もなお健在です。



中村の大杉

●参考資料

- 『北条町史』北条町史編纂委員会編（214.1 キタ）
- 『北条町史資料 2』北条町史編纂委員会編（224 キタ 2）
- 『北条観光』北条観光協会編（224 キタ）
- 『北条のはなし』桑山省吾著（224 クワ）
- 『柏崎市伝説集』柏崎市教育委員会編（388 カ）
- 『昔の話がありました 第5集』深田信四郎著（388 フカ 5）
- 『柏崎市の文化財』柏崎市教育委員会編（709 カシ）
- 柏崎日報 令和5年2月20日号



わたしの
1 冊 櫻井市長・近藤教育長の「ひとはこ図書館」をご紹介します！

櫻井市長からは、おすすめの本を1冊紹介していただきました。

ソフィアセンターは、市民のみなさんの教養を高めるアカデミックで知的な空間です。

高校生からご高齢の方まで様々な人が集う知的交流の場として活用いただければと思います。



「吉野弘詩集」

吉野弘／著 角川春樹事務所 1999年発行
(911.5 ヨシ)



櫻井雅浩市長



近藤喜祐教育長



私はデジタルよりも断然アナログ派です！
本は一つの知識から別の知識へと繋がっていく良さがあり、無限の世界へと導いてくれます。

●櫻井市長「ひとはこ図書館」資料リスト

- 『日本の思想』丸山真男著（121 MA）
- 『モオツアルト無常という事』小林秀雄著（762 KO）
- 『柏崎歳時記』山田良平著（914.6 ヤマ）
- 『夜と霧』ヴィクトール・E. フランクル著（946 フラ）
- 『銀河鉄道の夜』宮沢賢治著（F ミヤ）

ほか

●近藤教育長「ひとはこ図書館」資料リスト

- 『空白の天気図』柳田邦男著（369.3 ャ）
- 『世界文学全集第1期 25 (凱旋門)』
- エリック・マリア・レマルク著（908 KA 25）
- 『毒蛇』小林照幸著（916 コハ）
- 『光る壁画』吉村昭著（F YO）
- 『マックスウェルの悪魔』都筑卓司著
- 『残照のヤルン・カン』上田豊著

ほか

※記号がついている本は当館に所蔵あり

